

Title: 「明日はどっちだ」



Lines of sight

～それぞれのアジアへの視線～



徳田 敬太
Keita Tokuda 1985年
生まれの食べ歩き
り。世界という大海
へ向け、今、旅立と
うとしています。

● 最近のエントリー

- ☞ [カンボジア 2 ・ マラッカ 3](#)
(2009.11.24)
- ☞ [カンボジア 1](#)
(2009.11.23)
- ☞ [クアラカンザニ](#)
(2009.11.23)

● アーカイブ

- ☞ [2011年04月](#)
- ☞ [2011年03月](#)
- ☞ [2011年02月](#)
- ☞ [2011年01月](#)
- ☞ [2010年10月](#)
- ☞ [2010年09月](#)
- ☞ [2010年08月](#)
- ☞ [2010年07月](#)
- ☞ [2010年06月](#)
- ☞ [2010年05月](#)
- ☞ [2010年04月](#)
- ☞ [2010年03月](#)
- ☞ [2010年02月](#)
- ☞ [2010年01月](#)
- ☞ [2009年12月](#)
- ☞ [2009年11月](#)
- ☞ [2009年10月](#)
- ☞ [2009年09月](#)
- ☞ [2009年08月](#)
- ☞ [2009年07月](#)
- ☞ [2009年06月](#)
- ☞ [2009年05月](#)
- ☞ [2009年04月](#)
- ☞ [2009年02月](#)
- ☞ [2009年01月](#)
- ☞ [2008年12月](#)
- ☞ [2008年11月](#)
- ☞ [2008年10月](#)
- ☞ [2008年09月](#)
- ☞ [2008年08月](#)
- ☞ [2008年07月](#)
- ☞ [2008年03月](#)
- ☞ [2007年11月](#)
- ☞ [2007年10月](#)
- ☞ [2007年08月](#)
- ☞ [2007年06月](#)
- ☞ [2007年05月](#)
- ☞ [2006年10月](#)
- ☞ [2006年09月](#)
- ☞ [2006年08月](#)
- ☞ [2006年07月](#)
- ☞ [2006年06月](#)
- ☞ [2006年05月](#)
- ☞ [2006年04月](#)
- ☞ [2006年03月](#)

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

ISSUE 2.0

明日はどっちだ > 2009年11月 アーカイブ

09.11.24

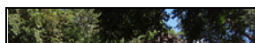
カンボジア 2 ・ マラッカ 3

泊まったホテルに以前、日本の芸能人の人が来たらしく「ノリカ・トゥクトゥク乗りますか？」と聞かれまして、それじゃあ、せっかくだからという事でノリカ・トゥクトゥクでベンメリアへ。約2時間



アンコールワットを遠る前に造ったのがこのベンメリア。いわばミニ・アンコールワットというかんじらしいです。

前からベンメリアは綺麗。と聞いていましたがやっぱりここは綺麗です。なにがって、たくさん崩れたりしていますが石の色が好きです。元々の色を想像させてくれます。これまた、完成当時はホントに綺麗ですごかつたんだろうと思います。





道の横ではペットボトルでガソリンを売っています。





3年前はブンベンからシェムリアップまでトンレサップ湖をボートで移動しましたが、今回はその湖をボートでぐるっと観光しました。以前は5月だったけど、くらいだったので乾期で水位が低すぎてボートが突っかかりました。しかし、今回は雨期だったためかホテイアオイもいたるところに群生していて心無しか湖の色も違ったように思います。どうやら平均の水位が、乾期の時は4mで雨期が12mらしいです。そんなに水位が違ふんなら、そりゃ突っかかりましたね。



水上集落の人たちのほとんどが漁師です。一部の地域にはベトナムからの移り住んで来た人たちが住んでいます。家によっては、地面に杭を打って高床式にしている家もあれば大きな船の上に家を作る、水上移動式家と言います。もありません。豚や犬を飼っていたり、養殖をしていたり、学校があったり、発電機で電気を作ったりと水上でもいろんな事ができるみたいです。



お寺のある小さな島があります。雨期の時にこんなに水位があがっても、ここは何か守られていて何の影響も出ないらしいです。

この島で目についたのが、マレーシアでもよく見る華人の家や人です。やはり明らかに顔が違って、カンボジアのほとんどの人がクメール人だと思っていたのでこんなところにも華人がいたとは、ちょっとした驚きでした。





皮のお土産。
少年たちが、コンコンコン、と作ってます。





そして、カンボジアが終わりマラッカへ。
カンボジアはやっぱり良いですね、楽しかったです。
また行きたくくなりました。



そして、空港からタクシーに乗りマラッカへ。

相変わらずトランスや演歌みたいな音楽を流しながら
自転車を漕くおっちゃんたちはシュールでファンキーです。

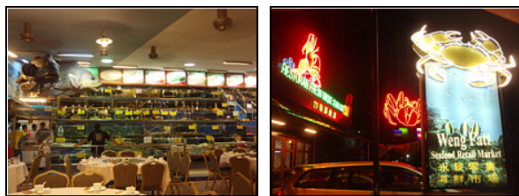
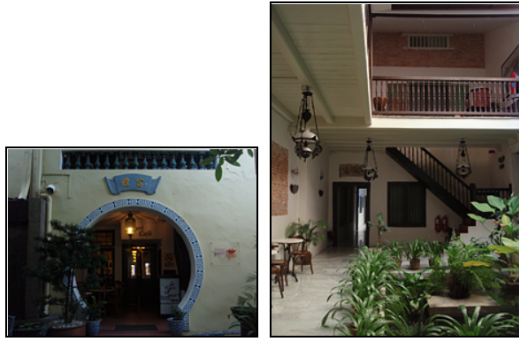


ボートに乗ったり、マラッカのババ・ニョニヤ料理を食べたり、マラッカ観光も慣れたものとなっています。



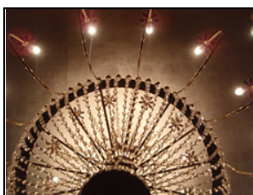
泊まったホテルは、チャイナタウンにあるホテルでアンティークがあったり、やたら奥行きがあったりなかなか味のある、雪田さんがオススメです。

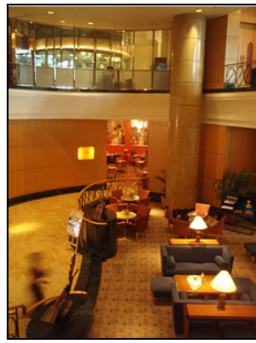
「っばい」です。



涼しい日本から来たというのがありますが
母親たちはマレーシアの暑さ、喧嘩ににやられていました。
どうやら自分は少しばかり慣れているようです。
だから、来まじれかかてい、ブニアア

たのしみながら、お楽しみ会やクリスマス、
アフタヌーンティーしたりしました。





そんなこんなで、お土産にいいいカヤジャムを持って
母親たちは日本へ帰って行きました。
海外旅行を楽しんでくれたみたいなのでよかったです。



post by 徳田 敬太 | 日時: 2009.11.24 | [パニマリンク](#) | [コメント\(1\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ](#) > 2009年11月 アーカイブ

09.11.23

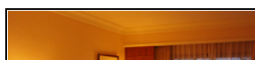
カンボジア 1

母親とその友達が来たので、ちょっとカンボジアとマレーシアを案内しました。

到着日は、翌日の朝エアアジアでカンボジアに発つ便だったので
空港の5星ホテルに泊まってしまうました。
マレーシアを旅行する時はいつもそこへんの宿なので
こんなキレイな"宿"ではなく"ホテル"に泊まるのはどれくらいぶりでしょうか。
数年前のFWまでさかのぼらないとダメかもしれません。

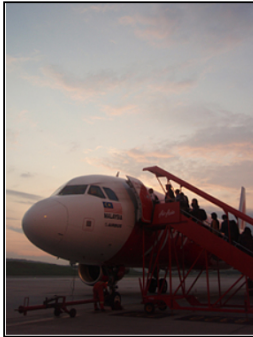


マレーシアのホテルには天井にちっちゃくメッカの方角を示す矢印があります。
ここのはちょっとタマネギ型でモスクみたいです。
部屋も広いし、間違いなく綺麗ですがさすがですね。



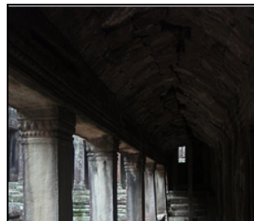


4期生がいPJIにおいてベトナムから紺野くんが来た時にエアアジアが何十時間も飛ばなかったで、ちょっと気にしてましたが問題なくカンボジアへ向けて出発。気持ち的には久しぶりの海外旅行です。



空港にお泊まるホテルのトゥクトゥクが向かえに来ていてタクシーでは感じられないトゥクトゥクで風を切って走る感じや、ほこりっぱさ、覚えてる道や建物は、数年前のFWを思い出させました。気分がいいですね。

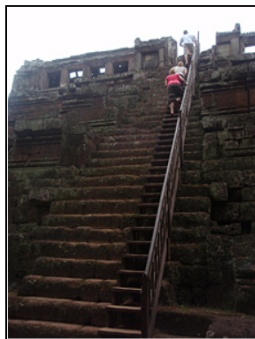
FWをしていた時にアンコールワットのチケットを買った時は横の小さい建物で写真を撮って、それをチケットにしてって流れたのですが、3年も経てばそりゃ進化しますね。カウンターにはデジタルカメラが付いててすぐに顔写真付きチケットが発行されました。

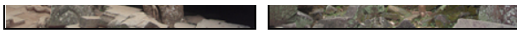




遺跡のあちこちには階段や歩く場所ができていたり、前に来た時は普通に通っていたルートが通れなかったりといろいろ変わるんですね。

変わってないものは、やたらおいしいココナッツジュースです。このジュースの味も好きですが、中の白い実もなかなか。でも何がいて慣れた手つきで鉈をふるってカットされたココナッツを遺跡を横に飲むってのがたまらんですね。

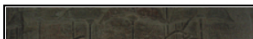




アンコールワット。相変わらず観光客はたくさんです。
ちなみにドライバーさん曰く、アンコールワットの観光は
午前だと写真を撮る時に逆光になってしまうので午後がいろいろいいです。

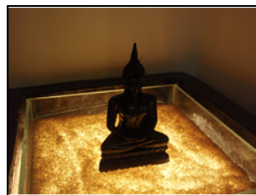
しかし、ただ遺跡を見ながら歩いてるだけじゃ何も分かりません。
そこで前からやってるのが、誰かのガイドさんの説明をちょっと聞くこと。
「ここには水があったんです。」とか
「このレリーフの意味は〜。」とか、それを聞くだけで見え方が違くなります。
がっつり聞くのはあれですから、ちょっとだけです。







しかしまあ、一人で旅をしていたら絶対に泊まらない、
泊まれないであろうホテルへ泊まるので、たまにはこういうのもいいですね。





アプサラダンスショー。
一人で旅をしてたら行きにくいですが今回は見れました。

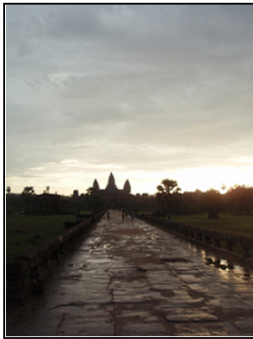


アンコールワットの朝日です。
ほんとは気球に乗って朝日を見るプランもあったのですが、残念それは今回はパス。
ちょっと小雨の振る中、だんだんと明るくなる空とパライに映る逆さアンコール。
懸高に晴れたらもっと綺麗だったのでしょうか
そうじゃなくてもアンコールワットの朝日は綺麗です。



観光地で観光客を見ると、どうしても、

あっ、これは あれだ。って思っています。
こりゃしょうがないですね。たぶん。



つづく

post by 徳田 敬太 | 日時: 2009.11.23 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#)

カテゴリ:

[明日はどっちだ](#) > 2009年11月 アーカイブ

クアラ カンサー

クアラカンサー(Kuala Kangsar)へ行ってきました。

クアラカンサーへはクアラルンプールから電車とバスで行く事が出来ます。
しかし、電車はなにかと手間がかかるためいつものようにバスで。約4時間。

18世紀にスルタンがこのクアラカンサーに移って来て
今も町から少し離れた場所におっきなお屋敷を構えて住んでいます。
だからでしょうか、町並みが普通の地方の町よりきれいな所がたくさんありました。
マレーシアは昔、世界一のゴム生産の国だったのですが
最初のゴムの木の生産はこの町から始まったそうです。





カンサー川がペラ川。どっちか分かりません。
でもこの川沿いはちょっといい感じです。



マレーシアにはモスクがたくさんありますがクアラカンサーにある
このクブディア・モスクがマレーシアで一番綺麗だと言われています。

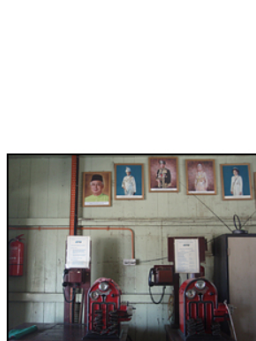




12～17才の少年が勉強している名門のマレーカレッジ。
数々の有名人がこの学校から出ています。



地方の町の駅のホームに寄ってみると、いつも静かです。
いつかは電車に乗ってみたいもんです。どんな電車なのでしょうか。



マレーシアでは日曜日の朝から昼までマーケットが開かれているのをよく見ます。
個人的にはマーケットの雰囲気は違いはあれど
どこの町も売っているものはほぼ同じな気がします。
雑貨があったり、服、おもちゃ、野菜、魚、軽食、飲み物などなどです。





マレーシアでは珍しく食べ物屋が少なかったこの町で、川が印象的でした。
と、まあそんなかんじにクアラカンサーからKLへ。

